

令和7年度第1回周南市ごみ対策推進審議会議事録

1. 日 時	令和7年10月6日（月曜日） 10時00分～11時00分
2. 場 所	周南市役所本庁舎シビック交流センター 2階 交流室1
3. 出席者	（委員15人） 赤木 真由、池田 光優、杉村 恒俊、姉ヶ山 将和、船井 辰朗、山崎 信枝、磯村 孝、小田 和則、小松原 美佐子、鎌田 昌子、佐々木 哲子、有國 美恵子、住谷 博志、千葉 浩之、高尾 典子 （事務局10人） （傍聴者0人）
4. 議 事	・周南市のごみ排出量（令和6年度実績値）について ・第2次周南市一般廃棄物（生活排水）処理基本計画（案）について
5. その他	今後のごみ対策推進審議会議スケジュールについて

- 開会
- 会議成立の報告（出席委員15名、欠席委員3名）
- 新委員の紹介
- 部長挨拶
- 事務局の紹介

○ 議事

(1) 周南市のごみ排出量（令和6年度実績値）について

（事務局）

別添資料「議事1－審議会資料・議事1－参考資料」を基に、周南市のごみ排出量（令和6年度実績値）について説明。

（議長）

事務局から、議事について説明がありました。ご意見・ご質問はありますか？

（委員）

審議会資料の1ページで、計画値と実績値の記載があるが、達成率についても記載してはどうか。

審議会資料の8ページ、9ページについて、この表示方法でごみの総排出量が減少傾向にあることは分かるが、各ごみの項目ごとの増減や推移は分かりにくい。例えば、基準とする時点のごみ量と比較して、どのくらい増減があったかの比率を示すなどするとよいのでは。

ごみ処理経費について、この5年間で約2割増加している。先の説明でごみの量は減っているという説明があったが、燃料費や人件費等の物価上昇の影響もあり、

ごみの量が少々減ったとしても、ごみ処理経費は今後の物価高に伴い上昇するのではないか。

これまでも、この審議会場で同様の意見を述べてきたが、ごみの中でも資源物は量を増やすことが目標であるため、ごみ全体のグラフ中に表示された時、目標が達成されているのかどうか分かりにくい。目指す姿が違う種類のものを一括で表示するのであれば、表記に注意したほうがよい。

(事務局)

資料の表記につきましては、計画値と実績値に係る達成率について、計画の進行状況を分かりやすく表示するように記載方法を検討いたします。

また、ごみ量の推移を示したグラフにおいて、全体の傾向だけでなく、個々のごみについても動きが読み取れるような、分かりやすい資料となるよう検討してまいります。

ごみ処理経費につきましては、ご指摘のとおり、ごみ量は減少傾向にありますが、物価高等の影響を考慮しますと今後も上昇傾向が見込まれます。

ごみ量に関する資料を作成する際、資源物の表示をどのように取り扱うべきかにつきましては、どのような表記とすれば分かりやすい説明資料となるかを今後研究してまいります。

(委員)

参考資料の7ページに、歳出が約27億4千万円とあるが、これらは全て一般財源なのか。補助金等あるのか。

(事務局)

歳出の約27億4千万円に対し、歳入は約2億4千万円です。歳入の中には、資源物やごみ袋の売払収入のほか、事業費に対する補助金も含まれています。

(委員)

参考資料4ページの発電寄与量について、これに関しては算出根拠等があるものと思われるが、資料からは読み取れない。説明が必要ではないか。

参考資料6ページの最終処分量について、目標を達成した旨の説明があったが、資料には目標値の記載がない。記載すべきではないか。

(事務局)

発電寄与量につきましては、複雑な計算式を表記するのではなく、算出方法の説明を追記するよう検討いたします。

最終処分量の目標値につきましては、表記を見直し、計画の達成度が分かりやすい資料といたします。

(議長)

他にご意見・ご質問はありますか？

(委員)

(意見なし)

(2) 第2次周南市一般廃棄物（生活排水）処理基本計画（案）について

(事務局)

別添資料「議事2－審議会資料」を基に、2次周南市一般廃棄物（生活排水）処理基本計画（案）について説明。

(議長)

事務局から、議事について説明がありました。ご意見・ご質問はありますか？

(委員)

12 ページの水域の概況について、各河川を説明する文書は、もう少し丁寧な説明とすべきではないか。

(事務局)

ご意見を踏まえ、表記を見直し、分かりやすい説明となるよう記載方法を検討いたします。

(委員)

11 ページの住宅の状況について、家屋の棟数については記載があるが、家屋の利用者数についても示すべきではないか。

13 ページの水域における環境基準の達成状況について、達成できていない理由等の市の見解が記載されていない。

14 ページに生活排水処理の流れの記載があり、17 ページの下水道計画図に各地区の整備状況が示されているが、各処理区分が図面上のどれに該当するのか分かりづらい。番号を付記するなど、記載方法を見直しできないか。

14 ページの図と同様の徳山中央浄化センターの処理体系を示した図が、21 ページ及び34 ページにも記載されているが、処理方法を示した矢印と方法に関する表記に異なる部分がある。現在の表記では分かりにくい。

27 ページの生活排水処理率について、本文に記載はあるものの、分かりにくい。語句解説については、分かりやすい表記としてほしい。

(事務局)

11 ページの住宅の状況及び13 ページの水域における環境基準の達成状況の記載内容につきましては、国の示す生活排水処理基本計画の策定指針に沿ったものであり、これらの項目は掲載することが求められておりますが、これら进行分析することや、関連項目を併せて記載することは、策定指針に定められておりませんので、現在の表記のままとさせていただきます。

17 ページの計画図につきましては、説明を付記することを検討いたします。

14 ページの徳山中央浄化センターの処理体系ですが、これは生活排水処理全体を説明したものであり、21 ページ及び34 ページに掲載された図は、し尿及び浄化槽

汚泥処理を説明するものです。説明を追記する等、記載方法を検討いたします。

27 ページの生活排水処理率につきましては、語句解説を分かりやすいかたちで追記いたします。

(議長)

他にご意見・ご質問はありますか？

(委員)

(意見なし)

○ その他

今後のごみ対策推進審議会議スケジュールについて

(事務局)

ごみ対策推進審議会議の次回開催予定について説明。

○ 閉会